

不動産業業況等調査（2020年1月）^{*1}

● 現在の経営状況^{*2}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	15.6 p	5.3 p ↗
不動産流通業（住宅地）	△ 16.7 p	△ 10.4 p ↘
ビル賃貸業	32.0 p	△ 6.5 p ↘

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 1.6 p	△ 0.1 p ↘
不動産流通業（住宅地）	△ 11.4 p	△ 3.4 p ↘
ビル賃貸業	△ 8.0 p	△ 6.1 p ↘

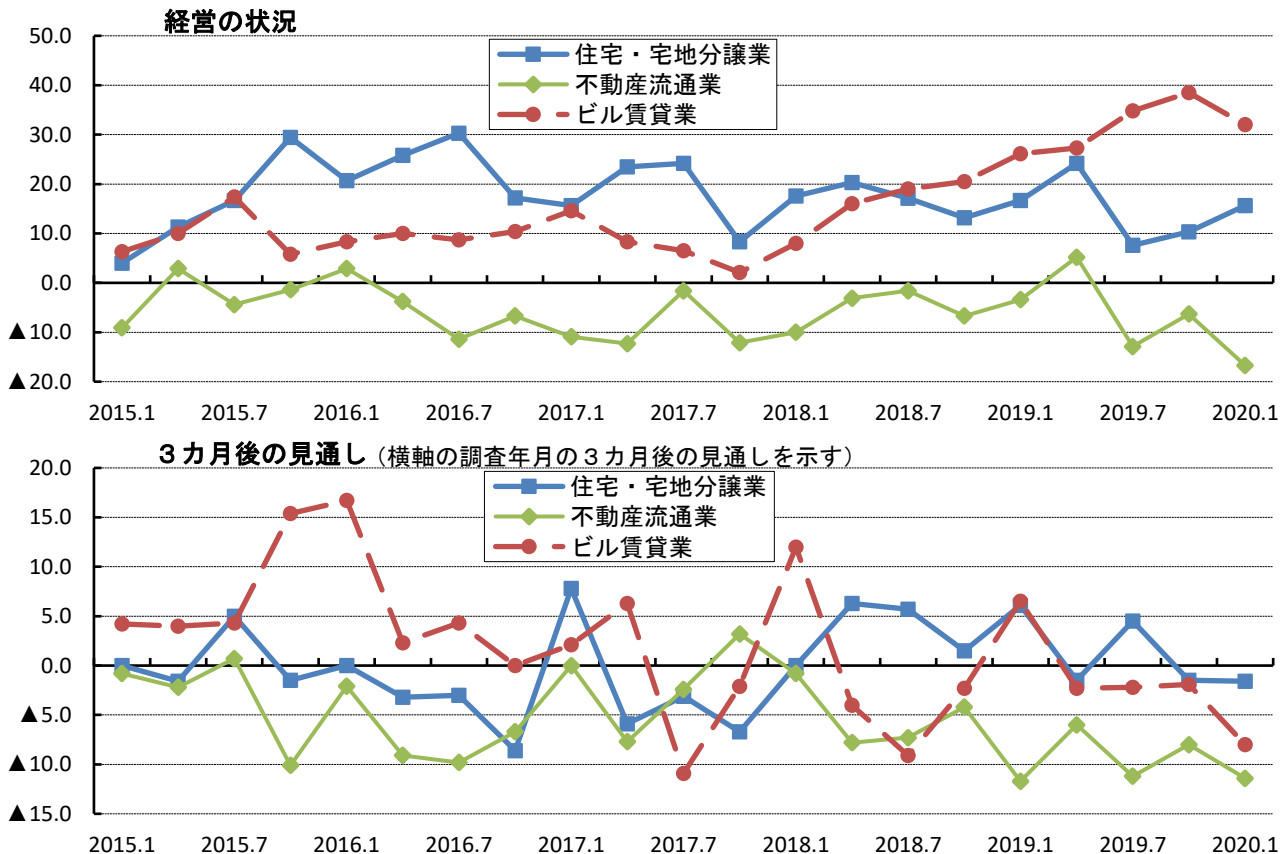
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から5.3p改善し15.6p。28期連続のプラス水準。
 不動産流通業は前回から10.4p悪化し-16.7p。3期連続のマイナス水準。
 ビル賃貸業は前回から6.5p悪化し32.0p。23期連続でのプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業、不動産流通業およびビル賃貸業でいずれも悪化。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$
 （調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」